

農山漁村地域整備計画

計画の名称

福島県沿岸地域における安全で安心な暮らしや交流を支える漁港漁村整備計画

計画策定主体

福島県

対象市町村

福島県浪江町、いわき市

計画の期間

令和5年度～令和9年度(5年間)

計画の目標

漁港海岸の海浜環境向上及び高波浪対策に必要な施設の整備により、景観の美化や利用促進を図り、浜辺のにぎわいを創出するとともに、海岸防災機能の向上を図る。

既存ストックを有効活用した、漁業生産コストの低減や就労環境の改善に必要な施設の整備により、効率的な漁業作業環境を確保する。

定量的指標

(海岸保全施設整備事業)海岸環境整備事業
・背後集落や農地における波浪・高潮等による浸水被害の防止(5.1ha)

(漁港漁村環境整備事業)漁村再生交付金事業
・漁港施設用地の整備に伴う漁具補修労働時間の削減させる。
(漁具補修1回あたりの所要日数 2.5日/回 → 1.0日/回)

対象事業

別紙のとおり

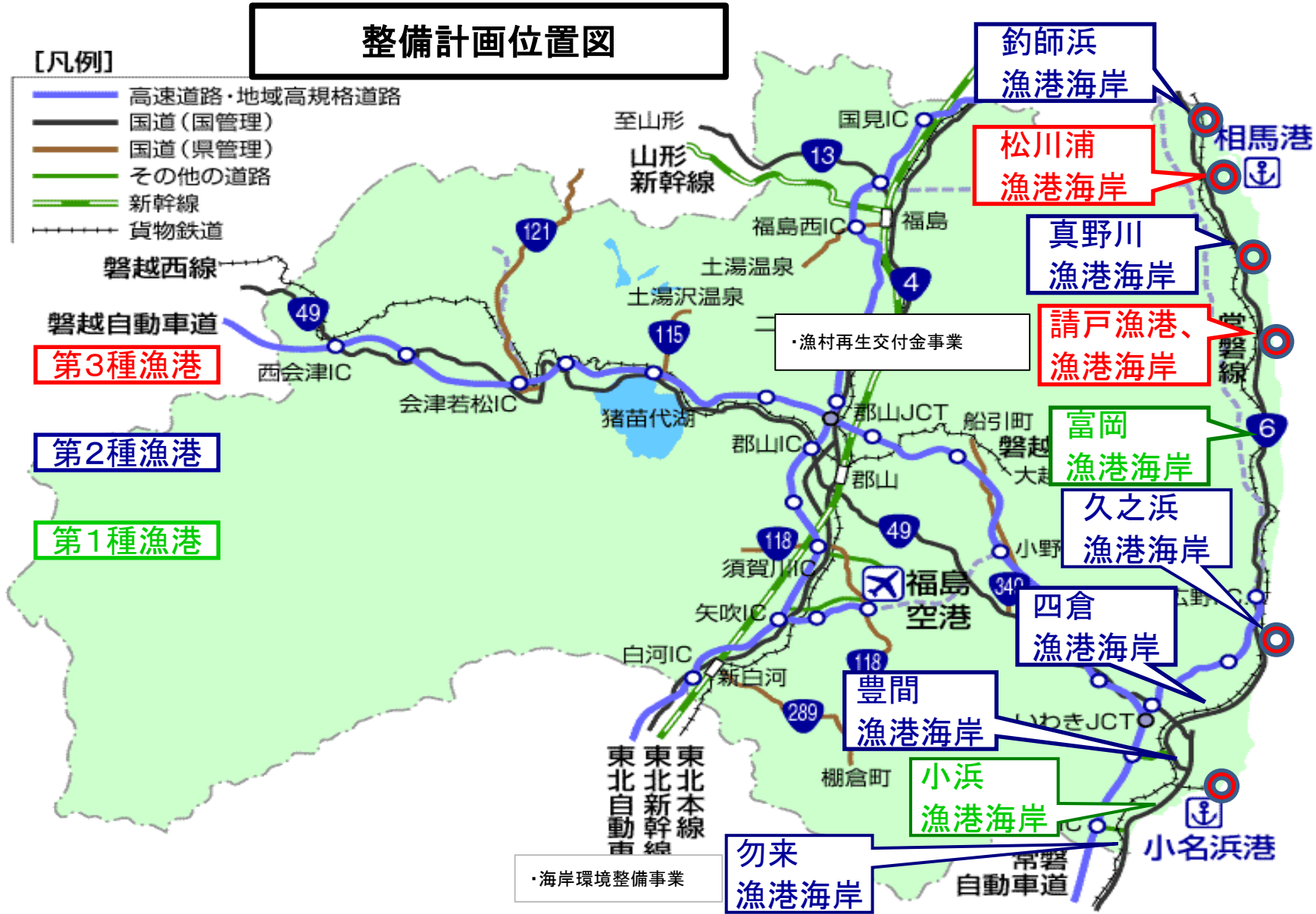
農山漁村地域整備計画の対象事業

事業名	事業型		事業実施主体	関係市町村	計画期間内の事業内容 (工種及び数量)	工期	計画期間内の総事業費 (千円)	費用対効果	備考
	事業型	事業箇所名 (地区名)							
海岸保全施設整備_漁港	海岸環境整備	勿来漁港海岸	福島県	いわき市	離岸堤改良 L=90m	R5 ~ R9	743,000	総事業費が10億円以下のため未記入	新規
漁港漁村環境整備事業	漁村再生交付金事業	請戸漁港	福島県	浪江町	舗装整備 A=10,000m2 排水工 一式	R5 ~ R5	50,000	総事業費が10億円以下のため未記入	新規
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
						~			
合計 (全体事業費)							793,000		

整備計画位置図

[凡例]

- 高速道路・地域高規格道路
- 国道(国管理)
- 国道(県管理)
- その他の道路
- 新幹線
- - - 貨物鉄道



第3種漁港

第2種漁港

第1種漁港

釣師浜
漁港海岸

松川浦
漁港海岸

真野川
漁港海岸

請戸漁港、
漁港海岸

富岡
漁港海岸

久之浜
漁港海岸

四倉
漁港海岸

豊間
漁港海岸

小浜
漁港海岸

勿来
漁港海岸

・漁村再生交付金事業

・海岸環境整備事業

磐越西線

磐越自動車道

至山形

山形
新幹線

土湯温泉
土湯沢温泉

東北
自動車
東北
新幹
線
東北
本幹
線

福島
空港

常磐
自動車道

相馬港

常磐線

小名浜港

農山漁村地域整備交付金にかかる整備計画事前評価

計画の名称	福島県沿岸地域における安全で安心なくらしや交流を支える漁港漁村整備計画
計画策定主体	福島県
関係市町村名	福島県浪江町、いわき市
計画期間	令和5年度～令和9年度(5年間)
計画の目標	<p>漁港海岸の海浜環境向上及び高波浪対策に必要な施設の整備により、景観の美化や利用促進を図り、浜辺のにぎわいを創出するとともに、海岸防災機能の向上を図る。</p> <p>既存ストックを有効活用した、漁業生産コストの低減や就労環境の改善に必要な施設の整備により、効率的な漁業作業環境を確保する。</p>
目標の妥当性 関連計画との整合や地域別の重点施策に対応しているか。	<p>福島県総合計画及び、福島県土木・建築総合計画、福島県農林水産業振興計画と整合が図れている。</p> <p>これらの計画においても、観光交流の促進や、漁港の整備により水産業の振興を図ることを目指しており、適切な目標となっている。</p>
整備計画の効果・効率性 整備計画目標と定量的指標、事業内容との整合や適切な指標となっているか。	<p>本計画は漁港漁場整備長期計画、社会資本整備重点計画を反映したものであり、事業の内容と定量的指標との整合が図られている。</p> <p>漁港及び漁港海岸利用者の増加、交流人口の拡大が図られ、作業効率の向上により快適な漁港漁村環境の形成に寄与し、本計画に基づく個別事業実施による効果は十分見込まれる。</p>
整備計画の実現可能性 地域関係者等からの理解が得られているか。	<p>地域住民及び地元市町や漁業関係者から施設整備の要望が出されており、関係者からの理解・同意は得られている。</p> <p>事業の実施に当たっては、今後の経済財政事情、計画の進捗を勘案しつつ事業を計画的、効率的に実行することとしている。</p>
総合評価	<p>本整備計画について、目標の妥当性、整備計画の効果・効率性、整備計画の実現可能性の観点から検証した結果、上位計画と整合が図れた計画となっており、また地元関係者から早期整備の要望も出されており、事業効果の発現も確実な計画となっている。</p>